



第12弾

ありがたい姿 探検記



お問い合わせ 政策推進課 ☎4-2511内線234 ☆4-251102

前回のやさしいトピック
なんもだよ掲示板、はじめました！

- ・「なんもだよ」があふれるまちへ
- ・コロナ禍だからこそ、繋がろう
- ・あなたの「したい」の実現へ

先月号は、皆さんの「したい」を応援する「なんもだよ掲示板」についてご紹介しました。今月は、平和について考えていきましょう。

世界で何が起っているのか？

2月末から毎日のようにニュースとなっているロシアによるウクライナ侵襲。戦闘は長期化しており、ウクライナでは子どもを含むたくさんの民間人が犠牲となっています。ウクライナと下川町は約7,000km離れていて、はるか遠い国のように思えますよね。しかし、今回のウクライナへの侵襲

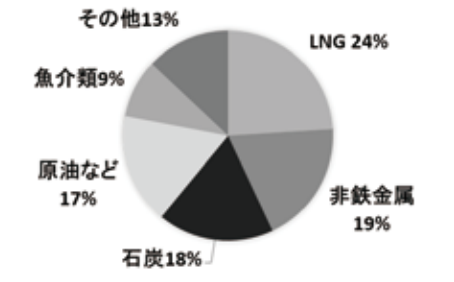
が私たちの生活に影響を与えているのです。
気が付いたこと

日本への輸入の影響をみてみましょう。ロシアとウクライナから日本へはなんと約1兆6,000億円が輸入されています。例えば、私たちの冬や移動にとって不可欠である灯油やガソリンですが、ロシアから輸入するうちの約6割（約9,000億円）を原油・天然ガス・石炭が占めています。化石燃料価格の上昇は電気代などエネルギー関連価格を押し上げます。ちなみに、ウクライナは、たばこが主要輸出品目で、日本が輸入した葉巻たばこのうち約2割がウクライナ産です。なんとウクライナからの輸入額の半分以上を占めています。

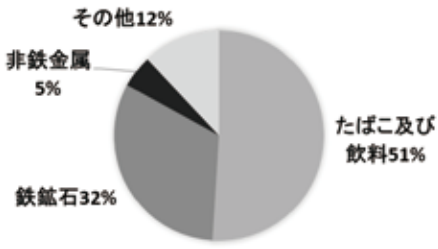
このように、日本から離れた地域が私たちの日常生活に影響を与える例は多々あります。こう考えると、改めて世界平和が私たちの生活を支えていたことに気づかされますね。



ロシアからの輸入(1兆5431億円)



ウクライナからの輸入(797億円)



るでしょう。そんな地域を目指したいですね。

平和と公正をすべての人に

ロシアによるウクライナ侵襲など海外の紛争について出来ることは多くはありません。その中でも今回は寄付や、ウクライナ避難民受け入れなど、小さなことからでも支援をしたいという動きが国内で見られます。ほかにも、平和の大切さを学ぶこと、具体的には戦争経験世代の話聞き、記録・記憶していくことが挙げられます。下川町には、日露戦争の時に満州（中国東北）とロシアの国境に住み、身一つで日本へ帰ってきた、壮絶な経験をされている高齢者がいます。

今回、戦争など、あらゆる課題は他人事ではなく、全てが繋がっていることがわかりました。今後、様々な経験、考え方を保持している、あらゆる年代の人と参加型で、よりよい下川町にしていきたいですね。

今月は、時事ニュースから、平和を見つめなおしました。来月からは今年度行われる住民参加型のまちづくりの1つでもある「SDGs推進町民会議」で議論されたことを紹介します。



充実版は公式noteへ